

令和元年度 自由ヶ丘高等学校 教養講座

講演会 「令和の時代を迎えて
歴史を学び、未来を読む」

講師 加来 耕三 (歴史家・作家)



講師略歴

令和元年（2019）5月現在

- 1 講師名 加来 耕三（かく こうぞう）
- 2 生年月日 昭和33年（1958）10月、大阪市内に生まれる。
- 3 学歴 昭和56年（1981）3月、奈良大学文学部史学科を卒業。
- 4 職歴 学究生活を経て、昭和59年（1984）3月に、奈良大学文学部研究員。現在は大学・企業の講師をつとめながら、歴史家・作家として著作活動をおこなっている。『歴史研究』編集委員。内外情勢調査会講師。地方行財政調査会講師。中小企業大学校講師。政経懇話会講師。日本歴史学会会員。日本推理作家協会会員。

5 最近の著作活動

- 代表的著作
（新刊☆）
- ☆ 『明治維新の理念をカタチにした 前島密の構想力』（つちや書店・2019）
 - ☆ 『日本史に学ぶ一流の気くばり』（クロスメディア・パブリッシング・2019）
 - 『利休と戦国武将 十五人の「利休七哲」』（淡交社・2018）
 - 『1868 明治が始まった年への旅』（時事通信社・2018）
 - 『幕末維新 まさかの深層』（さくら舎・2017）
 - 『西郷隆盛 100の言葉』（潮出版社・潮新書・2017）
 - 『龍馬は生きていた』（潮出版社・潮文庫・2017）
 - 『坂本龍馬の正体』（講談社・講談社+α文庫・2017）
 - 『日本史は「嫉妬」でほぼ説明がつく』（方丈社・2017）
 - 『謀略！ 大坂城 なぜ、難攻不落の巨城が敗れたのか』（さくら舎・2017）
 - 『真田と「忍者」（しのび）』（講談社・講談社+α文庫・2016）
 - 『刀の日本史』（講談社・講談社現代新書・2016）
 - 『三国志最強の男 曹操の人望力』（すばる舎・2016）
 - 『歴史に学ぶ自己再生の理論』（論創社・2016）
 - 『卑弥呼のサラダ 水戸黄門のラーメン「食」から読みとく日本史』（ポプラ社・ポプラ新書・2015）
 - 『性愛と結婚の日本史』（祥伝社・黄金文庫・2015）
 - 『財閥を築いた男たち』（ポプラ社・ポプラ新書・2015）
 - 『名家老たちの危機の戦略戦術 戦い・内紛・財政破綻の秘策』（さくら舎・2014）
 - 『家康はなぜ、秀忠を後継者にしたのか』（ぎょうせい・2014）※政経懇話会「まんづくり大賞」受賞
 - 『歴史を動かした天才軍師たち～その生き様を学び、ビジネスに活かす』（日経BP社・CD5枚組・2014）
 - 『日本史「常識」はウソだらけ』（祥伝社・黄金文庫・2013）
 - 『昭和の名経営者たち～日本経済の礎を築いた創業者精神に学ぶ～』（日経BP社・CD5枚組・2013）
 - 『真説 黒田官兵衛』（学陽書房・人物文庫・2013）
 - 『誰が、なぜ？ 加来耕三のまさかの日本史』（さくら舎・2012）
 - 『戦国美女は幸せだったか』（筑摩書房・ちくま文庫・2011）
 - 『歴史を動かした会議』（朝日新聞出版・朝日新書・2011）
 - 『徳川三代記』（ポプラ社・2011）
 - 『海援隊異聞～海防から商社へ～』（時事通信社・2010）
 - 『明治大学を創った三人の男』（時事通信社・2010）
 - 『ifの日本史 「もしも」で見えてくる、歴史の可能性』（ポプラ社・2010）
 - 『評伝 江川太郎左衛門』（時事通信社・2009）
 - 『昭和武闘伝』（出版芸術社・2009）
 - 『うわさの日本史』（日本放送出版協会・NHK出版生活人新書・2008）
 - 『戦後合気道群雄伝』（出版芸術社・2008）
 - 『新参謀学 戦略はいかにして創られるか』（時事通信社・2007）
 - 『真説 日露戦争』（出版芸術社・2005）
 - 『将帥学 信長・秀吉・家康に学ぶ人を使う極意』（時事通信社・2001）
 - 『信長の謎（徹底検証）』（講談社・講談社文庫・2000）
 - 『交渉学 相手を読み切る戦術』（時事通信社・1999）
 - 『真説・上野彰義隊』（中央公論社・中公文庫・1998）

監修・翻訳等

- ☆『コミック版 日本の歴史 第69巻 大友宗麟』（企画・構成・監修・ポプラ社・2019）
- 『歴史で感動！ 藤野先生と魯迅 日本と中国の絆』（企画・構成・監修・ポプラ社・2018）
- 『日本武術・武道大事典』（監修・勉誠出版・2015）
- 『時代が求める後藤新平 自治／公共／世界認識』（共著・藤原書店・2014）
- 『決定日本歴史的瞬間 会議中の権与謀』（世界图书出版公司北京・2014）
- 『手にとるように日本史がわかる本』（監修・かんき出版・2007）
- 『宮本武蔵大事典』（監修・新人物往来社・2003）
- 『The Mysterious Power of Ki - The Force Within - 』（Global Books Ltd・2000）
- 『豊臣秀吉大事典』（監修・新人物往来社・1996）
- 『中国怪異譚 平妖伝』（翻訳・解説・小学館・地球人ライブラリー・1996）

ほか

6 講演例（主催が2度以上に及んだ講演は1度のみ掲載、大学の公開講座や青年会議所の講義は外す・現在～平成10年）

演題	主催	会名	年月
「前島密没後100年を記念しての、幕末から明治にかけての国家形成に関して」	通信文化協会	前島密賞贈呈式基調講演	平成31年4月
「歴史に学び未来を読む」	ホテルニューオータニ	新春サロントーク	平成31年1月
「明治維新と薩長土肥の関わり」	明治150年記念薩長土肥フォーラム実行委員会	同名	平成29年10月
「明治維新から150年、現在そして未来を考える」	地方行財政調査会	同東京セミナー	平成29年7月
「戦国武将に学ぶリーダーの条件」	消防大学校	平成27年度消防大学校記念祭記念講演会	平成27年6月
「日本再生に向けて若き経営者が歴史から学ぶべきこと」	日本商工会議所青年部	第33回全国大会	平成26年2月
「黒田官兵衛に学ぶリーダーシップ」	全国公平委員会連合会	全国公平委員会連合会通常総会・講演会	平成25年10月
「戦国武将に学ぶリーダーの条件」	SMBCコンサルティング	第27期SMBC経営セミナー大阪	平成24年8月
「歴史に学ぶ地域コミュニティの変遷」	全国信用金庫協会	平成22年度トップセミナー	平成22年10月
「戦国武将に学ぶリーダーの条件」	全国法人会総連合	全国大会	平成22年9月
「歴史から学ぶもの～江川太郎左衛門を通じて」	静岡県立蘆山高等学校	第13回志龍塾	平成22年6月
「日本の心・やまとごころ」	日本武道館	第22回国際武道文化セミナー基調講演	平成22年3月
「歴史から学ぶ大局観の養い方」	大阪商工会議所	新人会夏期セミナー	平成21年8月
「戦国武将に学ぶリーダーの条件」	日本肝胆明華外科学会	第21回全国大会	平成21年6月
「戊辰戦争と奥羽越列藩同盟の歴史的意義」	宮城県白石市	戊辰戦争140年 in 白石基調講演	平成20年11月
「人生の達人 藤堂高虎に学ぶまちづくり」	三重県津市	藤堂高虎公入府400年記念講演会	平成20年4月
「英傑に学ぶ人間管理術」	みずほ総合研究所	岡崎みずほ研修会100回記念講演会	平成19年11月
「歴史に学び、未来を読む」	NTTコンファレンス	パートナーユーザー会講演会	平成19年10月
「戦国武将に学ぶリーダーの真髓」	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	SQUET講演会	平成19年10月
「歴史に見るリーダーの条件」	古河グループ	第14回古河グループビジネス講座	平成18年9月
「中興の祖としての吉田秀雄」	吉田秀雄記念事業財団	同財団創立40周年記念催事	平成17年11月
「足利尊氏の功績～乱世を制するリーダーの条件」	足利市	足利尊氏公誕生700年記念講演会	平成17年11月
「歴史に学び大局観を養う」	トヨタ自動車	翔の会・幹の会合同講演会	平成14年11月
「歴史を現代に活かす」	警察庁人事課	第4回組織管理者研修	平成14年7月
「加来耕三の中山道よもやま話」	中山道太田宿400年まつり委員会	同講演会	平成14年2月
「上杉鷹山に学ぶ21世紀の日本」	高鍋町	同町制100周年記念講演会	平成13年10月
「英雄列伝にみる人心掌握術」	時事通信社	シンガポールトップセミナー	平成12年8月
「歴史的人物に見る父親の家庭教育参加」	文部省委託事業民間放送教育協会	同基調講演	平成10年5月

このほか、テレビ・ラジオの番組監修・出演などの依頼も少なくない。

現在、レギュラー出演中のラジオ番組には、『加来耕三の「歴史あれこれ」』（全国のAMラジオ局10局で放送）。不定期ながら出演回数が多いテレビ番組には、『英雄たちの選択』（NHK BSプレミアム・毎週水曜夜8:00）、『先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）』（NHK Eテレ・毎週火曜夜10:00）などがある。

これまで関わったテレビ・ラジオ番組には、『MBC ニュースナウ』内の「幕末維新ニュース」（MBC 南日本放送）、『世紀のワイドショー！ ザ・今夜はヒストリー』『教えてもらう前と後』（いずれもTBS）、『THE 歴史列伝～そして傑作が生まれた～』『ライバルたちの光芒～宿命の対決が歴史を動かした～』『THE ナンバー2～歴史を動かした陰の主役たち～』（いずれもBS-TBS）、『歴史ロマン』（BS ジャパン）、『その時歴史が動いた』『アインシュタインの眼』（いずれもNHK）、『すっぴん！』の「裏歴史」をめぐる旅（NHK 第1放送）などがある。

なお、TBS系ラジオ全国ネット『日本全国8時です』（毎週土曜午前8時～同15分）にも、10年間にわたって出演し（平成20年9月まで）、未だに根強いファンを持っている。

以上